



経理担当者必聴

主催：(公社)仙台南法人会

共催：(公社)仙台北法人会・(公社)仙台中法人会

税務調査のスムーズな受け方と対応策

～より確実に実務に活かす心構えから対応策について解説～



税務調査は、法人によってかなりの程度差があるようですが、中小法人の場合は3～7年程度のサイクルで行われていると言われていいます。

今は、法人税・消費税・源泉税の同時調査が一般的で、消費税については、赤字企業でも調査されることがあります。厳しい経営環境の中で、日常の経理処理が税務調査により否認されることは、思わぬ痛手となる可能性があります。

そこで本セミナーは、いかにして税務調査を乗り切るか、指摘を受けない決算を進めるか、ケーススタディをもとに、気鋭の公認会計士が説明します。是非、実務に役立つ本セミナーを受講されることをお勧めします。

実施要領

日時 平成26年10月29日(水)午後1時30分～4時30分

会場 東京エレクトロンホール宮城4階401中会議室 (青葉区国分町3-3-7)

受講料 会員：2,000円 非会員：1名4,000円 (テキスト代含む)

定員 80名 (定員になり次第締切りとさせていただきます)

講師 公認会計士・中小企業診断士・不動産鑑定士 土屋晴行氏

1960年生まれ。東京大学経済学部卒業。公認会計士、不動産鑑定士、中小企業診断士として、監査、経営診断、経営指導に活躍。指導の的確さ、解説の判りやすさは定評がある。日本公認会計士協会公会計特別委員会委員。同協会東京会税務委員会委員などの要職を歴任。著書「バランスシートの読み方練習帳」「土地建物の税金Q&A」(こう書房)、「公会計制度の解説」(ぎょうせい)、「商法がわかった」(法学書院)他10冊余。

申込 (公社)仙台南法人会事務局 ☎022-246-3614 FAX 246-4520

「税務調査のスムーズな受け方と対応策」受講申込書

平成 年 月 日

| | | | |
|-------|--|-------|--|
| 会社名 | | 電話番号 | |
| 住所 | | FAX番号 | |
| 参加者氏名 | | 参加者氏名 | |

※ ご記入頂いた情報は、法人会からの各種連絡・情報提供に利用するほか、参加者の実態調査・分析のために利用することがあります。また、セミナー時に撮影した写真を当会広報誌「せんだい美名実」・ホームページにおいて公開する場合があります。



講座内容

1. 税務調査の仕組み
2. 税務調査の種類と方法
 - ① 税務調査の対象として選ばれるのは約10%の会社のみ
 - ② どうして、うちの法人が税務調査の対象となったのか
 - ③ 申告書は税務調査の第一歩
 - ④ 反面調査とは何か
 - ⑤ 赤字法人への税務調査は ～消費税がポイント～
 - ⑥ 最近の税務調査事情
3. 税務調査のポイントその進め方
 - ① 交際費と役員賞与が狙われるのはなぜか
 - ② 役員賞与は往復ビンタ
4. 税務調査の事前準備と対応
 - ① 税金を戻してもらった修正申告は認められない
 - ② 更正・決定よりも修正申告を勧める税務署
 - ③ 更正の請求とは何か
 - ④ 異議申し立てと審査請求
5. 模擬税務調査 ～法人税と消費税を中心に～
 - ① 脱税は足跡から発覚
 - ② 意外と多いタレ込みから開始される税務調査
 - ③ 税務署はどうやって事前準備を行っているか
 - ④ 税務調査が喜ばれるケース
 - ⑤ タンス預金は税務調査が難しい
 - ⑥ 税務署から送られてくる「お尋ね」とは
 - ⑦ 立証書類の整備が何よりも大切
6. 業種別税務調査対策
ご参加いただいた法人の中からいくつかの代表例を選んで業種別税務調査のポイントを解説します
7. 科目別税務調査の具体例と留意点
 - ① 交際費 ② 寄付金 ③ 旅費 ④ 資産評価 ⑤ 修繕費
 - ⑥ 広告宣伝費 ⑦ 福利厚生費 ⑧ 役員報酬関係 ほか

東京エレクトロンホール宮城 案内図



※ お車の利用の方は近隣の有料駐車場をご利用下さいますようお願い致します。